IIS NEWS

☆講　　演☆

◇教授　浅原照三「染料と界面活性剤の相互作用について」: 学術振興会第120委員会研究発表会(1958. 11. 14)

◇教授　浅原照三　助手　高木行雄「エチレンと四塩化炭素とのテロメリゼージョン」: 有機合成化学研究発表講演会，日本鉱業会館において (1958. 11. 24)

☆寄　　稿☆

◇教授　高橋武雄"Studies on Coulometric Cerimetry in Organic Analysis". Acta Do Congresso (1957) I Volume, 949–963, XV Congresso Internacional De Quimica Puro E Aplicada (Quimica Analitica)

◇教授　浅原照三　大学院学生　三橋啓了「含金属ポリマー」: ケミカルエンジニアリング **3**, 859 (1958. 11)

◇助教授　山辺武郎「炭酸イオンの陰イオン交換平衡」: 工化 **61**, 1531 (1958. 12)

◇助教授　山田嘉昭「剛塑性体の降伏点荷重〔IV〕」: 機械の研究, **10**, 12, 1479～1484 (1958)

☆受　　賞☆

◇教授　高橋武雄: アルギン酸の研究発明に対し紫授褒賞を賜った (1958. 12. 6).

☆生研所員海外渡航状況☆

◇第3部　尾上守夫助教授は，31. 8. 30 から米国コロンビヤ大学へ圧電振動子の振動理論に関する研究のため出張中であったが昨年 12 月 13 日帰国した.

◇第3部　森脇義雄教授は，文部省在外研究員として電気回路学，特にパルス回路解析および合成法の研究のため，Microwave Research Institute, Polytechnic Institute of Brooklyn へ約1ケ年間の予定で来る2月7日羽田出発の予定.

IIS NEWS

編　集　後　記

△1959年（昭和 34 年）の新年号を，おとどけする. この号は若干趣きを変えて，座談会の全ページ特集とした. 題して「物理と化学のゆくえ」であるが，物理と化学，理学と工学，技術と生産および将来への道にも及んだ内容となっている.

△表紙は，その窮極の理想像を想い，宇宙をはしる人工衛星からのサインをデザイン化して配したものである. このサイン(電波波形)は，理化学研究所宮崎友喜雄氏のご配慮により入手したものである（詳細は前ページ参照).

△この号は，新年の贈り物として，気軽に読んでいただくのが，大きなねらいである.

△表紙デザインと似顔の線画，カットは本所の水野晴明氏が担当した. 表紙星座の写真はデザインの上からモンタージュされたものである. その原図は，科学博物館，村山，朝比奈両氏のご厚意で借用した. なお，表紙のインキは，大日本インキ株式会社から，調製寄贈を受けた.　(Y. N.)

出版委員

出版委員長　渡辺　要
委　　員　*富永五郎
渡辺　勝
鈴木　弘

委　　員　高橋幸伯
森　政弘
尾上守夫
黒川兼行
福田義民

委　　員　*永井芳男
西川精一
関野　克
久保慶三郎

専門委員　星野昌一
斎藤成文
編集室　下村潤二朗
水野晴明

* 印　当番委員

第11巻　第1号　　生　産　研　究　　(本誌は生産技術研究所の研究紹介誌として，毎月1回発行する)

1959年1月1日発行

頒価 60 円

編集者　渡辺　要
発行者　福田武雄

印刷所　三美印刷株式会社　東京都千代田区神田多町2の7

発行所　東京大学生産技術研究所　千葉市弥生町1　電話千葉(2)0261(代表)